富山県文化振興財団
埋蔵文化財発掘調査報告第40集

北陸新幹線関係

埋蔵文化財包蔵地調査報告(8)

水橋上砂子坂遺跡　小竹貝塚
水橋金広中馬場遺跡　下老子笹川遺跡
新堀西遺跡　江尻遺跡
呉羽富田町遺跡　開蔀大滝遺跡
北代シャクドジ遺跡　下川原遺跡

2008年3月

財団法人富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査事務所

序

北陸新幹線は、東京と富山を短時間で結ぶ、富山県民の夢と期待が込められた新幹線鉄道です。現在、長野から金沢までの工事が進められております。

当財団では、北陸新幹線の建設に先立って、その予定地内で埋蔵文化財の確認調査を平成８年度から実施してまいりました。

今年度は、県東部の富山市、県西部の高岡市、小矢部市の３市で、10箇所の確認調査を行いました。その結果、富山市水橋金広中馬場遺跡では中世の遺構を、富山市新堀西遺跡では弥生時代から古墳時代の遺構・遺物を確認しました。高岡市下老子笹川遺跡では弥生時代から中近世の遺構・遺物を、高岡市江尻遺跡では弥生時代の遺構・遺物を確認しました。また、小矢部市下川原遺跡では弥生時代の遺構・遺物を確認し、本年度中に本調査を実施いたしました。

こうした調査成果をまとめた本書が、今後、埋蔵文化財保護の基礎資料になれば幸いです。

最後に、調査の実施にあたり格別のご協力とご配慮をいただきました関係機関及び各位に厚くお礼を申し上げます。

平成20年３月

財団法人富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査事務所
所　長　　岸本　雅敏

例　言

1　本書は平成19年度に富山市水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡・呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚、高岡市下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開藤大滝遺跡、小矢部市下川原遺跡で実施した埋蔵文化財包蔵地の確認調査報告書である。

2　調査は富山県教育委員会の決定に基づき、財団法人富山県文化振興財団が独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）からの委託を受けて実施した。

3　調査は財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所が実施した。調査員は次の通りである。

調査第一課主任　高柳由紀子　同文化財保護主事　朝田　要

調査第二課課長　河西健二　同チーフ　森　隆　同主任　青山　晃・細江真澄

同埋蔵文化財技師　泉　英樹

4　本書の編集は細辻、執筆は森・青山・細辻が行った。

5　遺物写真の撮影は調査第一課チーフ　島田美佐子が行った。

6　出土遺物及び記録資料は、埋蔵文化財調査事務所が一括して保管している。

目　次

序
例言
目次
Ⅰ　位置と環境……1
Ⅱ　調査の経緯……1
Ⅲ　調査の概要……4
　1　富山市水橋上砂子坂遺跡……4
　2　富山市水橋金広中馬場遺跡……4
　3　富山市新堀西遺跡……5
　4　富山市呉羽富田町遺跡……5
　5　富山市北代シャクドジ遺跡……6
　6　富山市小竹貝塚……6
　7　高岡市下老子笹川遺跡……6
　8　高岡市江尻遺跡……9
　9　高岡市開藤大滝遺跡……9
　10　小矢部市下川原遺跡……9
Ⅳ　まとめ……10
参考文献……11
図面
写真
報告書抄録

Ⅰ　位置と環境

本年度、包蔵地確認調査を実施したのは、富山市所在の水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡・呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚、高岡市内所在の下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開鐸大滝遺跡、小矢部市内所在の下川原遺跡の３市10箇所である。これらの各調査区のうち富山市水橋上砂子坂遺跡は上市川の右岸に位置している。水橋金広中馬場遺跡は常願寺川の下流部に形成された扇状地の扇端部に位置し、白岩川の右岸に立地する。新堀西遺跡は白岩川の左岸に立地し、舟橋村の南に隣接する。呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚は、呉羽山丘陵から弧状に張り出した緩傾斜面のほぼ先端部に位置する。高岡市下老子笹川遺跡は、高岡市の南端と旧福岡町の北端にまたがって所在し、南北約1.8㎞・東西約700mと南北に長く、全体の面積は約１㎢にも及ぶ巨大な遺跡である。江尻遺跡・開鐸大滝遺跡は、小矢部川と岸渡川と荒又川に挟まれた平地に立地する。標高は富山市水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡は標高８～９m前後を測る。呉羽富田町遺跡と北代シャクドジ遺跡は14～15m前後、小竹貝塚は３mである。高岡市下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開鐸大滝遺跡は19～23m前後を測る。小矢部市下川原遺跡は33m前後である。

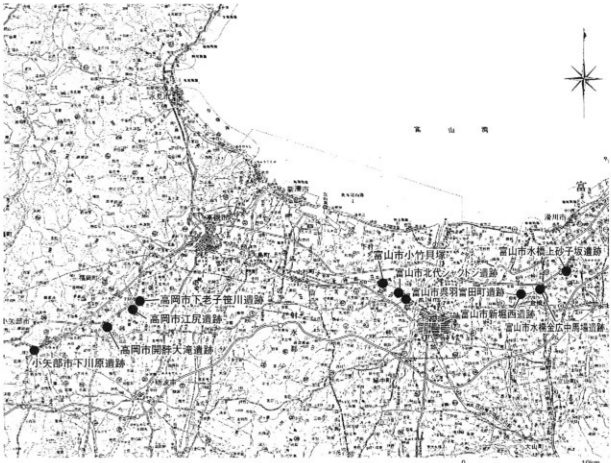
Ⅱ　調査の経緯

北陸新幹線の建設が計画されたことに伴い、昭和60年度と平成７年度に富山県教育委員会の文化課（現県生涯学習・文化財室）・富山県埋蔵文化財センターが実施した分布調査によって、路線内に30箇所（県東部19箇所・県西部11箇所）の埋蔵文化財包蔵地が確認された。さらに平成14年度に富山県埋蔵文化財センターが主体となった分布調査では、新たに県東部で４箇所の埋蔵文化財包蔵地が追加確認された。これを受けて、平成８年度には小矢部市下川原遺跡の調査を実施した。平成11年度以降は、県東部から包蔵地確認調査を順次実施しており、平成13年度新黒部・富山間の工事認可が下りるとともに、工事着工の急がれる新黒部以東においては、竹ノ内Ⅱ遺跡、柳田遺跡、下山新東遺跡、若栗中村遺跡などの発掘調査を実施している。

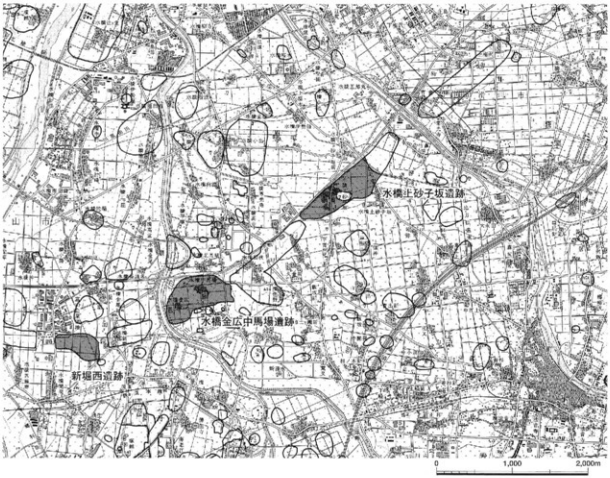
本年度は、東から富山市水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡・呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚、高岡市下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開鐸大滝遺跡、小矢部市下川原遺跡を対象に包蔵地確認調査を実施した。以下、平成19年度に実施した包蔵地確認調査の概要を記す。

調査結果一覧

遺跡名	調査期間（実働日数）	対象面積	掘削面積	遺跡の有無	調査員
水橋上砂子坂遺跡	H19.10.16～19（４日）	11,110㎡	360㎡	無	高柳・細辻
水橋金広中馬場遺跡	H19．9．6（１日）	800㎡	40㎡	有(中世)	森・泉
新堀西遺跡	H19.10.22・23（２日）	5,370㎡	233㎡	有(弥生～古墳)	細辻・泉
呉羽富田町遺跡	H19.11.26（１日）	750㎡	7㎡	無	
北代シャクドジ遺跡	H19.11.26・12.４（２日）	410㎡	7㎡	無	河西・細辻
小竹貝塚	H19.11.１（１日）	1,620㎡	16㎡	無	
下老子笹川遺跡	H19.11.８～15（６日）	25,500㎡	892㎡	有(中近世・弥生)	
江尻遺跡	H19.11.19（１日）	950㎡	24㎡	有(弥生)	細辻・朝田
開鐸大滝遺跡	H19.11.19（１日）	900㎡	45㎡	無	
下川原遺跡	H19．8．22～24（３日）	1,860㎡	81㎡	有(弥生)	河西・青山

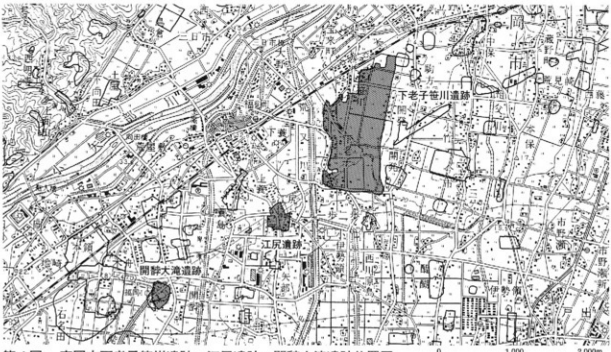


第１図　調査遺跡位置図



第２図　富山市水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡位置図

第３図　富山市呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚位置図



第４図　高岡市下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開鮭大滝遺跡位置図

第５図　小矢部市下川原遺跡位置図

Ⅲ　調査の概要

1．富山市水橋上砂子坂遺跡

（1）調査方法

水橋上砂子坂遺跡は、上市川の左岸に近い位置にある。対象地の現況は水田耕作地と畑である。標高は約7.5mを測る。調査は幅約1.5m、長さ5～50mの掘削溝を調査対象地区内に設定し重機による掘り下げをおこなった。次いで人力により平面・断面の精査を行い遺構・遺物の有無、遺存状況の確認をした。トレンチは東側からT1、T2、T3となる。

（2）調査結果

基本層序は、ほ場整備時の削平の程度により異なるが、堆積層の残りの良いトレンチで以下のようになる。Ⅰ層：現況である水田の耕作土、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト、Ⅲ層：暗灰黄色砂となる。遺物は耕土から近世陶磁器等の小破片を検出したのみである。遺構の検出はなく、この調査範囲での本調査の必要性は認められない。以下に各トレンチの層序の概要について簡単に記す。

T8：Ⅰ層：現耕作土（層厚約50cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。出土遺物はⅡ層から近世陶磁器を2点確認している。遺構の検出はなかった。

T9：Ⅰ層：現耕作土（層厚約40cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約20cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T10：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約30cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T11：Ⅰ層：現耕作土（層厚約15cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T12：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約15cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T13：Ⅰ層：現耕作土（層厚約35cm）、Ⅱ層：黄灰色シルト（層厚約25cm）、Ⅲ層：暗灰黄色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T14：Ⅰ層：現耕作土（層厚約10cm）、Ⅰ層直下は削平され黄灰色シルト、オリーブ褐色粘質シルトなどが堆積する。漸次的な自然堆積の様相がみられる。出土遺物は耕作土から弥生土器を2点確認している。遺構の検出はなかった。

T15～T20：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅰ層直下は削平され黄灰色シルト、オリーブ褐色粘質シルト、黄褐色砂質シルトなどが堆積する。漸次的な自然堆積の様相がみられる。遺構・遺物の検出はなかった。

2．富山市水橋金広中馬場遺跡

（1）調査方法

A3地区の西側に隣接した畑地が対象地で、そのほぼ中央にトレンチを一本設定し、掘削をおこなった。

（2）調査結果

Ⅰ層：耕土、Ⅱ層：黄褐色質土（床土）、Ⅲ層：黄灰色シルト質土層の地山となる。Ⅲ層上面で数カ所の散在する土坑やピット状遺構を検出した。東側のＡ３地区では堀で囲われた中世の建物群が本年調査されており、本対象地もこれに続く遺構が広がっているものと判断できる。これにより平面積にして800㎡について本調査が必要と認められる。

３．富山市新堀西遺跡

（１）調査方法

今年度に本調査を実施した対象地の西隣に、幅約1.6m、長さ15～80mのトレンチを４本設定した。標高はＴ４とＴ６は約8.2m、Ｔ５とＴ８は8.5mである。

（２）調査結果

調査地の基本層序は、ほ場整備時の削平の程度により異なるが、堆積層の残りの良いトレンチで以下のようになる。Ⅰ層：現況である水田の耕作土、Ⅱ層：古墳遺物包含層、Ⅲ層：古墳遺構面、Ⅳ層：地山となる。Ｔ５のみで、土坑・溝などの遺構を確認した。Ｔ４はＴ５より標高が30cm低く、耕土直下はほ場整備による削平をうけている。Ｔ４の南側は標高が高く、検出面が残っている可能性が高いため本調査の対象となる。このことからＴ５の水田部分約100mの区間、平面積にして900㎡について本調査が必要と認められる。以下に各トレンチの層序の概要について簡単に記す。

Ｔ４：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅲ層：にぶい黄色粘土（層厚約５cm）、Ⅲ層直下は灰黄色砂と粘土の互層が１m堆積する。漸次的な自然堆積の様相がみられる。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ５：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅱ層：黄褐色粘質シルト（層厚約35cm）、Ⅲ層：にぶい黄色粘土（層厚約30cm）、Ⅵ層：黄灰色粘質シルト。出土遺物は耕作土から珠洲を２点、包含層から土師器を２点確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

Ｔ６：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅰ層直下は黄灰シルトと黒褐色粘土の互層が１m堆積する。漸次的な自然堆積の様相がみられる。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ８：Ⅰ層：現耕作土（層厚約35cm）、Ⅵ層：黄灰色粘質シルト（層厚約20cm）、Ⅳ層直下は黄灰シルトと黒褐色粘土の互層が80m堆積する。漸次的な自然堆積の様相がみられる。遺構・遺物の検出はなかった。

４．富山市呉羽富田町遺跡

（１）調査方法

呉羽富田町遺跡は、重機の進入が困難であったため、全て人力掘削で行った。幅、長さともに１～２mのトレンチを４本設定した。標高はＴ１・Ｔ２が11.4m、Ｔ３・Ｔ４が13.3m前後を測る。

（２）調査結果

対象地の現況は畑である。Ｔ３とＴ４の耕土直下は厚い盛土に覆われており、高低差がみられる。

Ｔ１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約70cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約70cm）、Ⅲ層：オリーブ褐色シルト。出土遺物は耕作土から土師器を数点確認している。遺構の検出はなかった。

Ｔ２：Ⅰ層：現耕作土（層厚約80cm）、Ⅱ層：黒褐色粘質シルト（層厚約50cm）、Ⅲ層：オリーブ褐色シルト。出土遺物は耕作土から土師器と須恵器を数点確認している。遺構の検出はなかった。

Ｔ３：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅰ層直下は盛土が堆積している。遺構・遺物の検出はなかった。

T４：Ⅰ層：現耕作土（厚約20cm）、Ⅰ層直下は盛土が約２m堆積している。
出土遺物は耕作土から土師器と須恵器を数点確認している。遺構の検出はなかった。

５．北代シャクドジ遺跡

（１）調査方法

北代シャクドジ遺跡も重機の進入が困難であったため、全て人力掘削で行った。幅１m、長さ１～２mのトレンチを５本設定した。標高は約15.5mを測る。

（２）調査結果

T１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅱ層：オリーブ褐色シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：黄褐色シルト。遺構・遺物の検出はなかった。

T２：Ⅰ層：現耕作土（層厚約40cm）、Ⅱ層：オリーブ褐色シルト（層厚約15cm）、Ⅲ層：黄褐色シルト。遺構・遺物の検出はなかった。

T３～T５：Ⅰ層：現耕作土（層厚約50～70cm）、Ⅲ層：黄褐色シルト。遺構・遺物の検出はなかった。

６．小竹貝塚

（１）調査方法

小竹貝塚は、幅1.8m、長さ３mのトレンチを３本設定した。標高は約3.2mを測る。

（２）調査結果

調査対象地の現況は水田耕作地である。基本層序は、Ⅰ層は現況である水田の耕作土、Ⅱ層は茶褐色の旧表土、Ⅲ層は褐色土で木片を含む。Ⅳ層は木片を含む粘性の強い黒褐色土層。Ⅴ層は緑灰色で粘性が最も強く、無遺物層であった。貝片の検出もなく、今回の調査範囲については本調査の必要性は認められない。以下に各トレンチの層序の概要について簡単に記す。

T１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約90cm）、Ⅱ層：オリーブ褐色シルト（層厚約50cm）、Ⅵ層：黒褐色粘土（層厚約40cm）、Ⅴ層：緑灰色粘土。出土遺物はⅡ層から土師器と須恵器を数点確認している。

T３：Ⅰ層：現耕作土（層厚約１m）、Ⅱ層：オリーブ褐色シルト（層厚約40cm）、Ⅵ層：黒褐色粘土（層厚約40cm）、Ⅴ層：緑灰色粘土。出土遺物は耕作土から土師器を数点確認している。

T４：Ⅰ層：現耕作土（層厚約80cm）、Ⅱ層：オリーブ褐色シルト（層厚約60cm）、Ⅲ層：オリーブ褐色粘質シルト（層厚約40cm）、Ⅵ層：黒褐色粘土（層厚約30cm）、Ⅴ層：緑灰色粘土。出土遺物はⅡ層から土師器と須恵器を数点確認している。

７．下老子笹川遺跡

（１）調査方法

トレンチは変電所予定地の南東ブロックと、そこから西へ路線内に23本設定した。標高は南東側のT１～T５、T８～T10が18.5m～18.9m、T６、T７、T11～T13は18.1m～18.4mと南東ブロックでも南から北へと低くなっている。路線内ではT14は18.4m、T15～T19は18.6m～18.9m、T20が19.0mと、東から西へと高くなる傾向がみられる。西端ではT21は18.7m、T22は18.3m、T23は標高が最も低く17.5mとなっている。

（２）調査結果

調査地の現況は水田である。基本層序はほ場整備時の削平の程度により異なるが、堆積層の残りの良いトレンチで以下のようになる。Ⅰ層：現況である水山の耕作土、Ⅱ層：中近世遺物包含層、Ⅲ層：中近世遺構検出面、Ⅳ層：弥生遺物包含層、Ⅴ層：弥生遺構検出面、Ⅵ層：地山層となる。このうちＴ１～Ｔ４、Ｔ８～Ｔ10、Ｔ14～Ｔ21でⅢ層、Ｔ１～Ｔ３、Ｔ15・Ｔ16ではⅤ層にて遺構を検出した。確認した遺構は土坑・溝で、出土遺物は弥生土器・近世陶磁器などを確認した。これら以外のトレンチについては、耕土直下に灰色砂と粘土の互層の自然堆積の様相がみられるのみで、遺構・遺物は検出していない。よってＴ１～Ｔ４、Ｔ８～Ｔ10、Ｔ14～Ｔ21までの間、約600mの区間、平面積にしておよそ上層17,710㎡、下層6,520㎡、延面積にして24,230㎡について本調査が必要と認められる。以下に各トレンチの層序の概要について簡単に記す。

Ｔ１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約30cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：にぶい黄色砂、暗オリーブ褐色シルト（層厚約25cm）、Ⅴ層：黄灰色砂（層厚約10cm）、弥生遺構検出層）、Ⅵ層：黄灰色砂質シルト。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

Ｔ２：Ⅰ層：現耕作土（層厚約15cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約25cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、黒褐色砂質シルト（層厚約30cm）、Ⅴ層：黄灰色砂（弥生遺構検出層）。出土遺物はⅣ層から弥生土器を確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝、一部深堀した両側のⅤ層で土坑などを検出した。

Ｔ３：Ⅰ層：現耕作土（層厚約15cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約25cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、灰黄色砂、黄灰色砂、暗灰黄色砂質シルト（層厚約70cm）、Ⅴ層：黄灰色砂（弥生遺構検出層）。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

Ｔ４：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、灰黄色砂、黄灰色砂（層厚約65cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて土坑などを検出した。

Ｔ５：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約25cm）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、黄灰色砂、暗灰黄色砂質シルト（層厚約１m）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ６：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅱ層：黒褐色シルト（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約５cm）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、黄灰色粘土（層厚約25cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ７：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅱ層：暗灰黄色シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約20cm）、Ⅵ層：黄灰色砂質シルト。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ８：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約20cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：にぶい黄色砂、暗オリーブ褐色シルト（層厚約25cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて土坑などを検出した。

Ｔ９：Ⅰ層：現耕作土（層厚約40cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂（層厚約10cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は耕作土から近世陶磁器、溝から弥生土器を数点確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

Ｔ10：Ⅰ層：現耕作土（層厚約40cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：黄灰色砂、灰黄色砂、暗灰黄色砂質シルト（層厚約70cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は耕作土から弥生土器を数点確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

T11：Ⅰ層：現耕作土（層厚約40cm）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト（層厚約25cm）、Ⅵ層：黄灰色シルト、黒褐色シルト（層厚約45cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T12：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約５cm）、Ⅳ層：黄灰色砂、暗灰黄色砂質シルト（層厚約30cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T13：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約10cm）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト、暗灰黄色砂質シルト（層厚約40cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は耕作土から弥生土器を１点確認している。遺構の検出はなかった。

T14：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約20cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、黄灰色砂、暗オリーブ褐色シルト（層厚約30cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T15：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約20cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト、黄褐色シルト（層厚約60cm）、Ⅴ層：黄灰色砂（弥生遺構検出層）。出土遺物は耕作土から弥生土器を数点確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

T16：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約５cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト、黄褐色シルト、暗オリーブ褐色シルト（層厚約50cm）、Ⅴ層：黄灰色砂（層厚約20cm、弥生遺構検出層）、Ⅵ層：黄灰色砂。出土遺物は耕作土から弥生土器を数点確認している。遺構はⅤ層上面にて土坑・溝などを検出した。

T17：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト（層厚約25cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。遺構・遺物の検出はなかった。

T18：Ⅰ層：現耕作土（層厚約50cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約10cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗オリーブ褐色シルト（層厚約15cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて溝などを検出した。

T19：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約10cm、中近世遺構検出層）、Ⅳ層：暗灰黄色砂、暗オリーブ褐色シルト（層厚約40cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて溝などを検出した。

T20：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅱ層：暗灰黄色シルト（層厚約20cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅵ層：暗オリーブ褐色シルト（層厚約20cm）、Ⅴ層：黄灰色砂。出土遺物は確認していない。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

T21：Ⅰ層：現耕作土（層厚約30cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約15cm、中近世遺構検出層）、Ⅵ層：暗オリーブ褐色シルト。出土遺物は遺構から近世陶磁器を数点確認している。遺構はⅢ層上面にて土坑・溝などを検出した。

T22・T23：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅰ層直下は盛土に削平されていた。遺構・遺物の検出はなかった。

8．江尻遺跡

（1）調査方法

江尻遺跡のトレンチは鉄道運輸機構との協議の結果、当初対象地の東端に幅1.6m、長さ15mのトレンチを１本設定した。標高は約20mを測る。

（2）調査結果

調査対象地の現況は水田である。調査地の基本層序はⅠ層：現況である水田の耕作土、Ⅱ層：弥生遺物包含層、Ⅲ層：弥生遺構検出層、Ⅳ層：地山層となる。検出した遺構は、平成７年度に対象地の北側で当財団が能越自動車道関連調査をおこなった際に検出した、谷の続きかと思われる。谷からは弥生土器が出土した。よって、Ｔ１の区間、平面積にして930㎡について本調査が必要と認められる。

Ｔ１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約45cm）、Ⅱ層：暗灰黄色シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：にぶい黄色砂（層厚約20cm、遺構検出層）、Ⅳ層：にぶい黄色礫。出土遺物は谷の埋土から数点の弥生土器を確認した。遺構はⅢ層上面にて谷と、この谷を切る溝を検出した。

9．開酔大滝遺跡

（１）調査方法

開酔大滝遺跡は幅1.8m、長さ10～15mのトレンチを２本設定した。標高は約22mを測る。

（２）調査結果

基本層序は、Ⅰ層：現況である水田の耕作土、Ⅱ層：黄灰色シルト、Ⅲ層：灰黄色砂、Ⅳ層：黄灰色シルト、Ⅴ層：オリーブ褐色礫となる。総覚すると灰色シルトと黄色砂の互層により構成され、漸次的な自然堆積の様相がみられる。遺構・遺物はともになく、本調査の必要性は認められない。以下に各トレンチの層序の概要について簡単に記す。

Ｔ１：Ⅰ層：現耕作土（層厚約20cm）、Ⅱ層：黄灰色シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約５cm）、Ⅳ層：黄灰色シルト。遺構・遺物の検出はなかった。

Ｔ２：Ⅰ層：現耕作土（層厚約25cm）、Ⅱ層：黄灰色シルト（層厚約10cm）、Ⅲ層：灰黄色砂（層厚約５cm）、Ⅴ層：オリーブ褐色礫。遺構・遺物の検出はなかった。

10．下川原遺跡

（１）調査方法

下川原遺跡は小矢部市野端・後谷地内に所在する。小矢部川の支流である砂川左岸側にあり、宝達丘陵から派生する段丘の先端部に位置している。調査対象地の現況は水田および畑で、標高は32.8～35.3m、調査対象面積は1,860㎡である。試掘トレンチ（略号Ｔ）を４ヵ所設定した。表土及び遺構検出面とみられる層まで重機（バックホー）により掘削をおこない、遺構・遺物の有無を確認した。また、部分的に下層の状況確認のため深堀をおこなった。調査面積は81㎡である。

（２）調査の結果

Ｔ２は段丘上、Ｔ１・３・４はその段丘下の低地部分となる。そのため、Ｔ２とＴ１・３・４で基本層序が異なる様相を呈する。

Ｔ２では、上からⅠ層：現耕作土・盛土、Ⅱ層：黒褐色粘質土、Ⅲ層：黄灰色粘質土、Ⅳ層：黒褐色粘質土、Ⅴ層：灰色砂質土となる。Ⅰ層は約１mの厚さがあり、現耕作土は0.4m程、残りは地形改変に伴う盛土となる。盛土には弥生時代後期～終末期、古墳時代後期、古代の遺物が混入する。Ⅱ層は厚み約0.1～0.2mで堆積し、弥生時代後期～終末期の遺物が包含される。Ⅲ層上面にてⅡ層を埋土とする溝・土坑が確認された。Ⅲ層は約0.3mの厚みがあり、その上面はトレンチ内でほぼ水平となる。Ⅴ層はＴ２中央で約1.4mの深度、Ｔ２東端で約1.6mの深度で確認され、東に向かって低くなる旧地形の様相を示している。地形が低くなるＴ２東端では、Ⅲ・Ⅴ層の間にⅣ層の堆積が認められた。また、Ｔ２西端では南側に張り出す段丘を埋め戻した攪乱部分が確認された。

Ｔ１・３・４は低地部分に位置する。Ｔ１は1.5m程の深度まで掘削したが、Ⅰ層：現耕作土・盛土が確認されたのみである。Ｔ３はⅠ層：現耕作土・盛土、Ⅱ層：緑灰色粘土（地山）が確認され、Ⅱ層上面までは約0.8mの深度を測る。Ｔ４はⅠ層：現耕作土・盛土が確認された。いずれも遺構・遺物は認められなかった。

以上のように、Ｔ１・３・４については遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ周辺の低地部分が、砂川の旧流路に近接し低湿な状況にあったため、遺構の形成はなかったと考えられる。このため、本調査の必要はないと判断される。Ｔ２では、弥生時代後期～終末期の遺物包含層や遺構が確認された。Ｔ２の位置する段丘面上では、下川原遺跡の北側に後谷条里遺跡の存在が知られる。後谷条里遺跡における既存の調査では弥生時代終末期の溝が確認されている（小矢部市教育委員会2001）。こうした状況を踏まえるならば、当該期を中心とした遺構・遺物の広がりが、この段丘面上に存在することが予見され、今回の調査地点はその南縁辺部に当ると言える。このため、Ｔ２を設定した山面部分に関しては本調査の必要があると判断される。

Ⅳ　まとめ

以上の調査結果をまとめると以下のようになる。

（１）水橋上砂子坂遺跡

遺構なし。耕土から数点遺物出土有り。本調査の必要なし。Ｔ12からＴ14の間の未調査地区は、宅地撤去後試掘調査が必要である。

（２）水橋金広中馬場遺跡

Ｔ14から土坑・ピット状遺構を検出した。東側のＡ３地区では堀で囲われた中世の建物群が本年調査されており、本対象地もこれに続く遺構が広がっているものと判断できる。これにより平面積にして800㎡について本調査が必要と認められる。Ｔ14から西側の未調査地区は、宅地撤去後試掘調査が必要である。

（３）新堀西遺跡

調査対象地のＴ５から土坑・溝などを検出した。東隣では、弥生時代後期から古墳時代前期の集落が本年調査されており、本対象地もこれに続く遺構が広がっているものと判断できる。これにより平面積にして900㎡について本調査が必要と認められる。

（４）呉羽富田町遺跡

遺構なし。耕土から数点遺物出土有り。本調査の必要なし。Ｔ１から東側とＴ３から西側の未調査地区は、試掘調査が必要である。

（５）北代シャクドジ遺跡

遺構なし。耕土から数点遺物出土有り。本調査の必要なし。Ｔ５から西側の未調査地区は、試掘調査が必要である。

（６）小竹貝塚

遺構なし。耕土から数点遺物出土有り。本調査の必要なし。Ｔ４から西側の未調査地区は、宅地撤去後試掘調査が必要である。

（７）下老子笹川遺跡

Ｔ１～Ｔ４、Ｔ８～Ｔ10、Ｔ14～Ｔ21でⅢ層、Ｔ１～Ｔ３、Ｔ15・Ｔ16ではⅤ層で土坑・溝などを

検出した。遺物は弥生土器・近世陶磁器などを確認した。よってＴ１～Ｔ４、Ｔ８～Ｔ10、Ｔ14～Ｔ21の間、平面積にしておよそ上層18,790㎡、下層6,990㎡、延面積にして25,780㎡について本調査が必要と認められる。Ｔ13の東側とＴ21から西側の未調査地区は、宅地撤去後試掘調査が必要である。

（８）江尻遺跡

Ｔ１から谷などを確認した。出土遺物は弥生土器である。このことから、平面積にして950㎡について本調査が必要と認められる。Ｔ１の西側と東側の未調査地区は、宅地撤去後試掘調査が必要である。

（９）閘静大滝遺跡

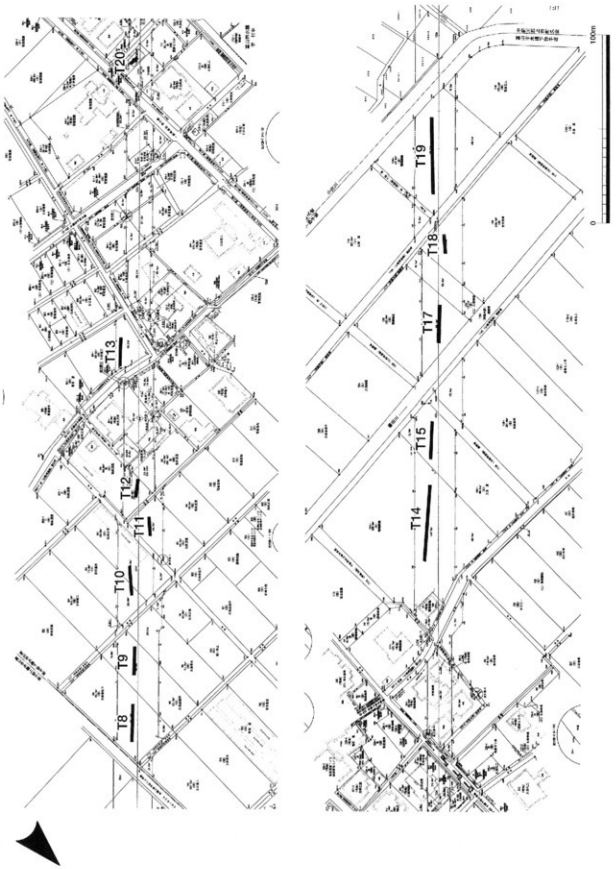
遺構・遺物なし。本調査の必要なし。Ｔ２から西側の未調査地区は、試掘調査が必要である。

(10) 下川原遺跡

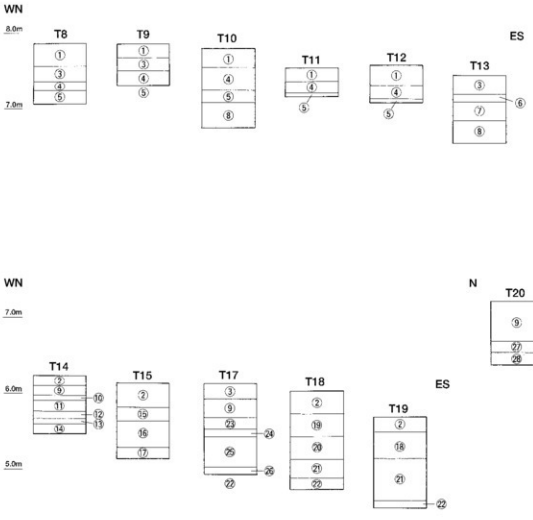
調査対象地のＴ２から弥生時代後期～終末期の土坑・溝などを確認した。出土遺物は弥生土器である。このことから、平面積にして500㎡について本調査が必要と認められる。

（参考文献）

・小矢部市教育委員会　2001『平成12年度小矢部市埋蔵文化財発掘調査概報』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2000～2007『北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査（1）～（7）』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2000～2005『埋蔵文化財調査概要　平成13年度～16年度』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2000～2007『埋蔵文化財調査年報　平成13年度～18年度』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2000『岡辨大滝遺跡・地崎遺跡発掘調査報告』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2003『江尻遺跡・寺島遺跡発掘調査報告』
・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2006『下老子笹川遺跡発掘調査報告』
・富山県教育委員会1972『富山県埋蔵文化財調査報告書Ⅱ』
・富山市教育委員会1978『富山市呉羽富田町遺跡発掘調査報告書』
・富山市教育委員会1987『富山市埋蔵文化財調査概要』
・富山市考古資料館1993『富山市考古資料館紀要　第13号』

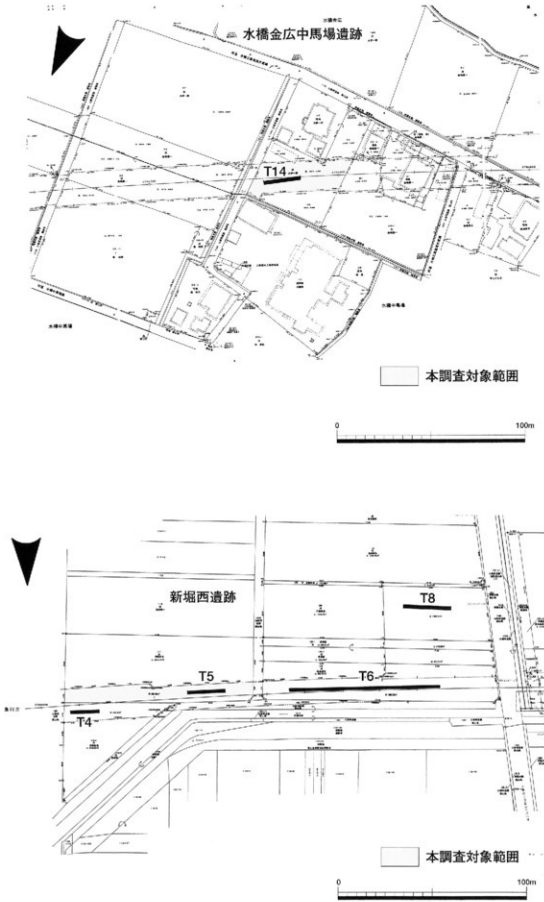


第6図　水橋上砂子坂遺跡　トレンチ配置図（1：2,000）

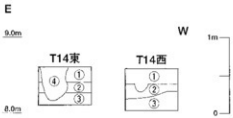


①2.5Y3/3	暗オリーブ褐色	シルト（Ⅰ層　耕作土）
②2.5Y4/4	オリーブ褐色	シルト（Ⅰ層　耕作土）
③2.5Y4/2	暗灰黄色	シルト（Ⅰ層　耕作土）
④2.5Y3/1	黒褐色	粘質シルト（Ⅱ層）
⑤2.5Y5/2	暗灰黄色	砂（Ⅱ層）
⑥2.5Y5/1	黄灰色	砂質シルト（Ⅰ層　耕作土）
⑦2.5Y4/1	黄灰色	シルト（Ⅱ層）
⑧2.5Y4/2	暗灰黄色	砂（Ⅱ層）
⑨2.5Y6/3	にぶい黄色	砂
⑩2.5Y4/2	暗灰黄色	シルト
⑪2.5Y4/4	オリーブ褐色	粘質シルト
⑫2.5Y5/2	暗灰黄色	砂質シルト
⑬2.5Y5/1	黄灰色	砂
⑭2.5Y4/1	黄灰色	シルト
⑮2.5Y4/1	黄灰色	砂質シルト
⑯2.5Y5/2	暗灰黄色	砂
⑰2.5Y4/1	黄灰色	シルト
⑱2.5Y4/4	オリーブ褐色	シルト（撹乱）
⑲2.5Y5/2	暗灰黄色	砂
⑳2.5Y4/2	暗灰黄色	粘土
㉑2.5Y4/1	黄灰色	粘土
㉒2.5Y5/1	黄灰色	粘土
㉓2.5Y5/3	黄褐色	砂質シルト
㉔2.5Y5/3	黄褐色	粘質シルト
㉕2.5Y5/1	黄灰色	粘土
㉖2.5Y4/1	黄灰色	粘土
㉗2.5Y3/2	黒褐色	砂（盛土）
㉘2.5Y4/2	暗灰黄色	砂質シルト（盛土）

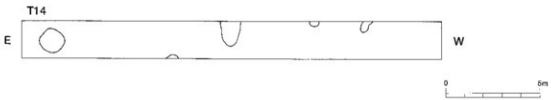
第７図　水橋上砂子坂遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図



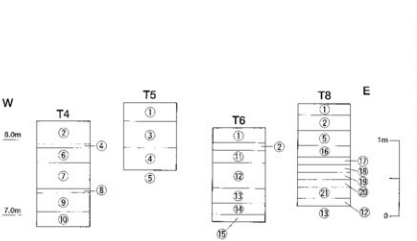
第 8 図　水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡　トレンチ配置図（1：2,000）



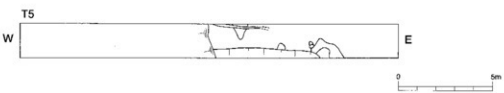
第９図　水橋金広中馬場遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図



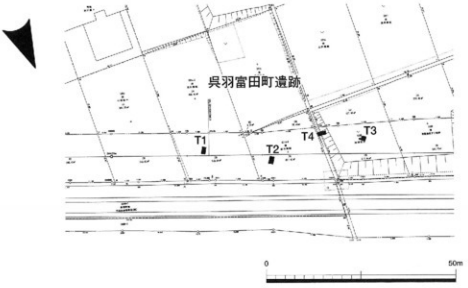
第10図　水橋金広中馬場遺跡　検出遺構平面図

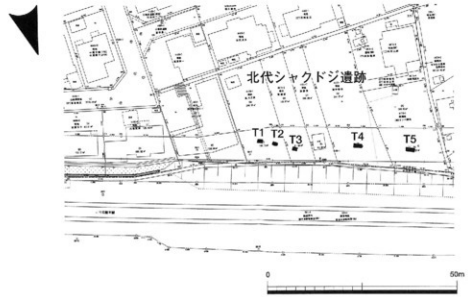


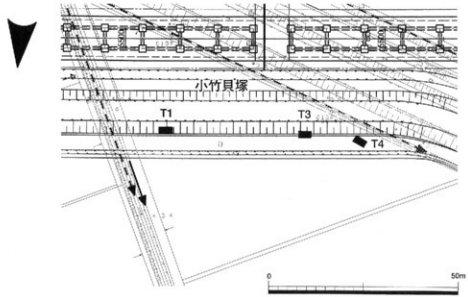
第11図　新堀西遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図



第12図　新堀西遺跡　検出遺構平面図

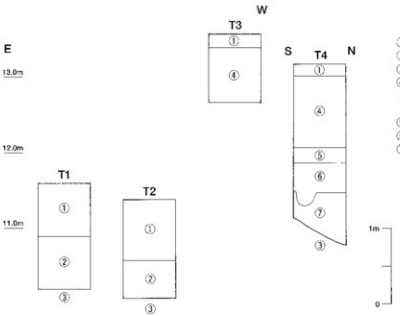






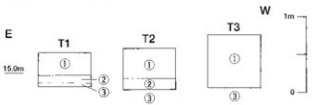
第13図　呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚　トレンチ配置図（1：1,000）

呉羽富田町遺跡



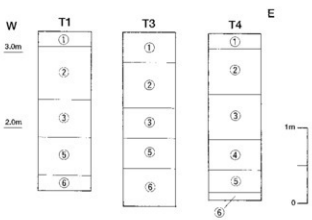
①2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 シルト（Ⅰ層 耕作土）
②2.5Y3/1 黒褐色 粘質シルト（Ⅱ層）
③2.5Y4/6 オリーブ褐色 粘質シルト（Ⅲ層）
④2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 シルト（盛土）
（2.5Y6/6明黄褐色粘土、2.5Y7/1灰白色粘土がブロック状に混入）
⑤2.5Y4/2 暗灰黄色 シルト（盛土）
⑥2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 シルト（盛土）
⑦2.5Y3/1 黒褐色 シルト（盛土）

北代シャクドジ遺跡



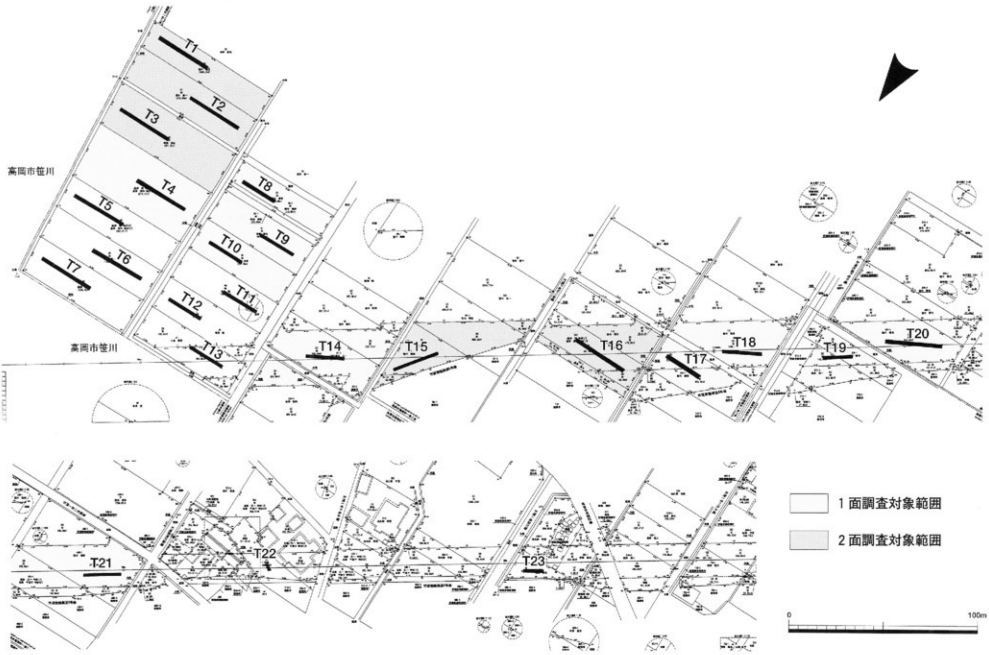
①2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 シルト（Ⅰ層 耕作土）
②2.5Y4/6 オリーブ褐色 シルト（Ⅱ層）
③2.5Y5/6 黄褐色 シルト（Ⅲ層）

小竹貝塚

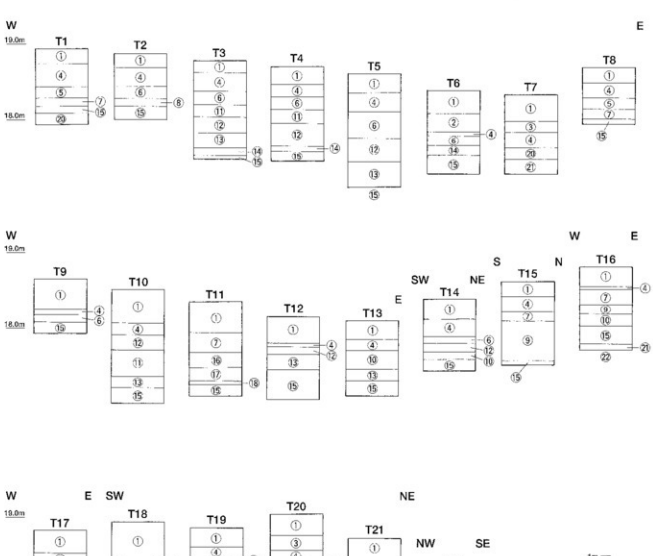


①2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 シルト（Ⅰ層 耕作土）
②2.5Y3/2 黒褐色 シルト（Ⅰ層 耕作土）
③2.5Y4/3 オリーブ褐色 シルト（Ⅱ層 旧表土）
④2.5Y4/4 オリーブ褐色 粘質シルト（Ⅲ層）
⑤2.5Y3/1 黒褐色 粘土（Ⅳ層）
⑥7.5GY6/1 緑灰色 粘土（Ⅴ層）

第14図　呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚　トレンチ土層断面柱状模式図

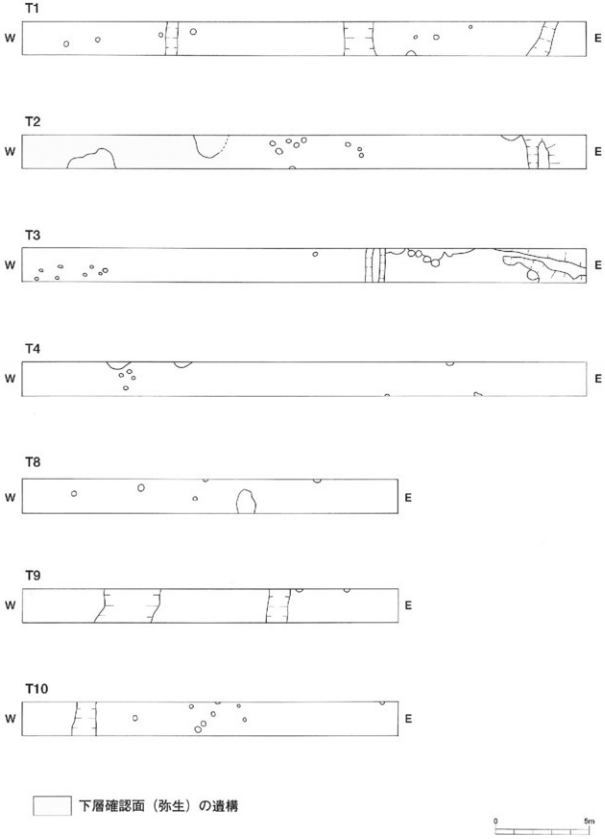


第15図　下老子笹川遺跡　トレンチ配置図（1：2,000）

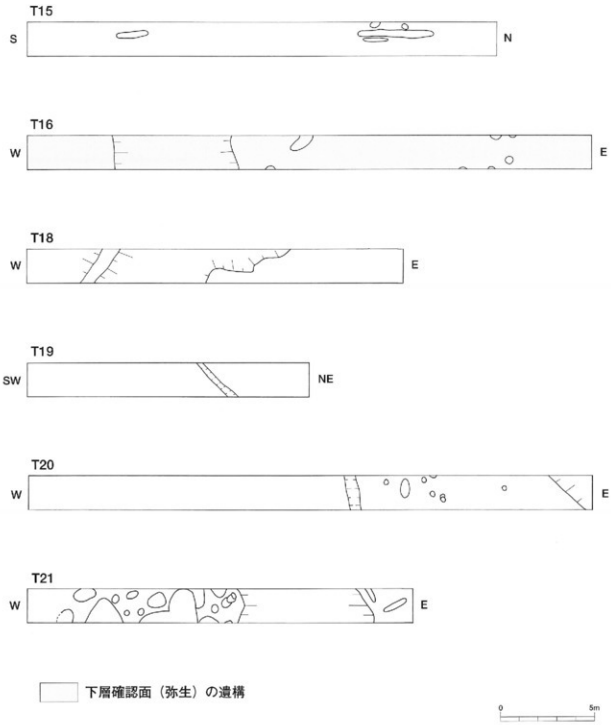


①2.5Y3/3　暗オリーブ褐色　シルト（Ⅰ層　耕作土）
②2.5Y3/2　黒褐色　シルト（Ⅱ層　上層包含層）
③2.5Y4/2　暗灰黄色　シルト（Ⅱ層　上層包含層）
④2.5Y6/2　灰黄色　砂（Ⅱ層　上層検出面）
⑤2.5Y6/3　にぶい黄色　砂（Ⅳ層　下層包含層）
⑥2.5Y5/2　暗灰黄色　砂（Ⅳ層　下層包含層）
⑦2.5Y3/3　暗オリーブ褐色　シルト（Ⅳ層　下層包含層）
⑧2.5Y3/1　黒褐色　砂質シルト（Ⅳ層　下層包含層）
⑨2.5Y5/3　黄褐色　シルト（Ⅳ層　下層包含層）
⑩2.5Y3/3　暗オリーブ褐色　砂質シルト（Ⅳ層　下層包含層）
⑪2.5Y6/2　灰黄色　砂（Ⅳ層　下層包含層）
⑫2.5Y6/1　黄灰色　砂（Ⅳ層　下層包含層）
⑬2.5Y4/2　暗灰黄色　砂質シルト（Ⅳ層　下層包含層）
⑭2.5Y5/1　黄灰色　粘土
⑮2.5Y6/1　黄灰色　砂（Ⅴ層　下層検出面）
⑯2.5Y4/1　黄灰色　シルト（Ⅵ層）
⑰2.5Y5/1　黄灰色　砂（Ⅵ層）
⑱2.5Y3/1　黒褐色　シルト（Ⅵ層）
⑲2.5Y6/3　にぶい黄色　砂（Ⅵ層）
⑳2.5Y6/1　黄灰色　砂（Ⅵ層）
㉑2.5Y4/1　黄灰色　粘土（Ⅵ層）
㉒2.5Y5/1　黄灰色　砂（Ⅵ層）
㉓2.5Y6/1　黄灰色　砂質シルト（盛土）
㉔2.5Y4/3　オリーブ褐色　シルト（盛土）
㉕2.5Y5/3　黄褐色　礫（盛土）
㉖2.5Y6/1　黄灰色　礫（盛土）

第16図　下老子笹川遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図



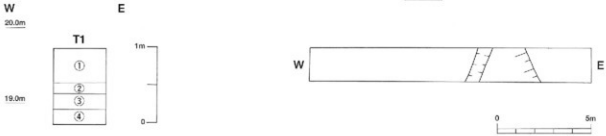
第17図　下老子笹川遺跡　検出遺構平面図



第18図　下老子笹川遺跡　検出遺構平面図

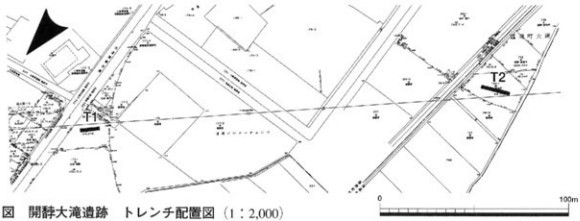
第19図　江尻遺跡　トレンチ配置図（1：1,000）

本調査対象範囲

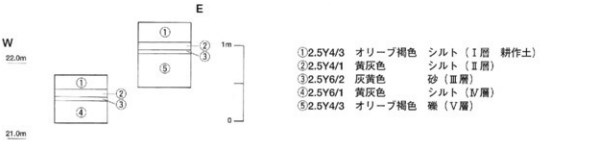


①2.5Y4/1　黄灰色　　シルト（Ⅰ層　耕作土）
②2.5Y4/2　暗黄灰色　シルト（Ⅱ層　包含層）
③2.5Y6/4　にぶい黄色　砂（Ⅲ層　遺構検出面）
④2.5Y6/4　にぶい黄色　礫（Ⅳ層）

第20図　江尻遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図・検出遺構平面図

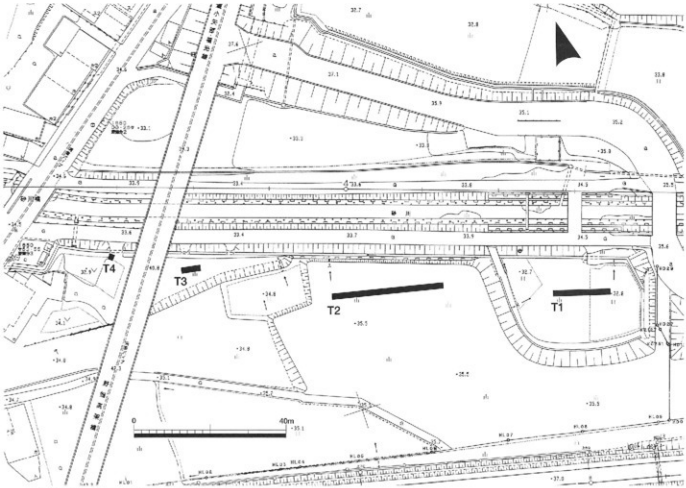


第21図　開静大滝遺跡　トレンチ配置図（1：2,000）

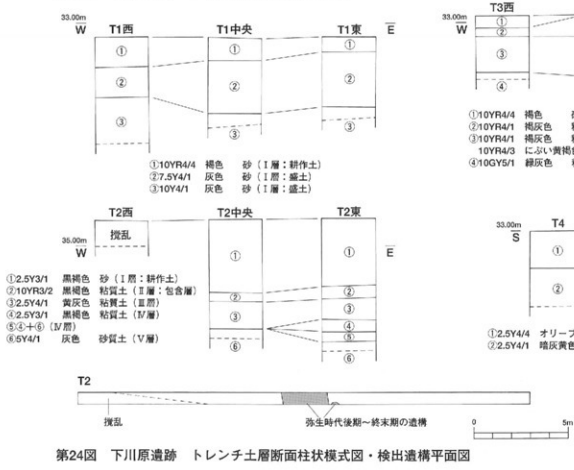


①2.5Y4/3　オリーブ褐色　シルト（Ⅰ層　耕作土）
②2.5Y4/1　黄灰色　　シルト（Ⅱ層）
③2.5Y6/2　灰黄色　　砂（Ⅲ層）
④2.5Y6/1　黄灰色　　シルト（Ⅳ層）
⑤2.5Y4/3　オリーブ褐色　礫（Ⅴ層）

第22図　開静大滝遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図



第23図　下川原遺跡　トレンチ配置図（1：1,000）



第24図　下川原遺跡　トレンチ土層断面柱状模式図・検出遺構平面図

写真1

（1）T14～T19遠景（西から）

（2）T10遠景（西から）

（3）T8東端土層断面（南から）

（4）T8完掘状況（東から）

（5）T15西端土層断面（南から）

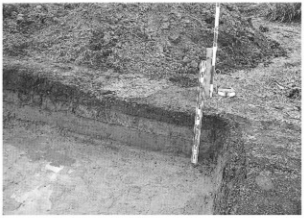
（6）T15完掘状況（東から）

（7）T19東端土層断面（南から）

（8）T19完掘状況（西から）

（1）～（8）：水橋上砂子坂遺跡

（9）T14東端土層断面（北から）


（10）T14西端土層断面（北から）

（11）T14機械掘削状況（東から）

（12）T14完掘状況（東から）

（13）T４遠景（西から）

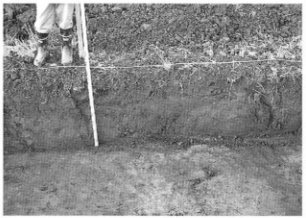
（14）T８遠景（東から）

（15）T４東端土層断面（南から）

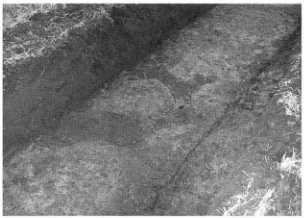
（16）T４完掘状況（東から）

（9）～（12）：水橋金広中馬場遺跡　（13）～（16）：新堀西遺跡

写真 3



(17) Ｔ５中央土層断面（南から）

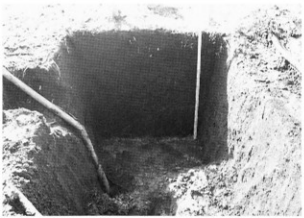


(18) Ｔ５遺構検出状況（北東から）

(19) Ｔ８西壁土層断面（南から）

(20) Ｔ８完掘状況（東から）

(21) Ｔ２遠景（西から）



(22) Ｔ１土層断面（北から）

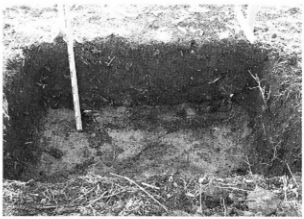
(23) Ｔ３土層断面（北から）

(24) Ｔ４土層断面（東から）

(17)～(20)：新堀西遺跡　(21)～(24)：呉羽富田町遺跡

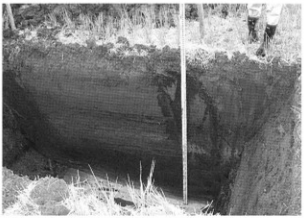
(25) T１遠景（東から）

(26) T２人力掘削状況（西から）


(27) T２土層断面（北から）

(28) T５土層断面（北から）

(29) T３遠景（西から）


(30) T１土層断面（南から）

(31) T１完掘状況（東から）

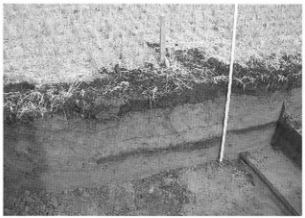
(32) T４土層断面（南から）

(25)～(28)：北代シャクドジ遺跡　(29)～(32)：小竹貝塚

写真5

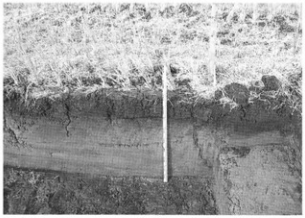
(33) T 1 遠景（東から）

(34) T 3 遠景（東から）



(35) T 1 西端土層断面（南から）

(36) T 1 遺構検出状況（南東から）



(37) T 2 東端土層断面（南から）

(38) T 2 遺構検出状況（南東から）

(39) T 3 西端土層断面（南から）

(40) T 3 遺構検出状況（南西から）

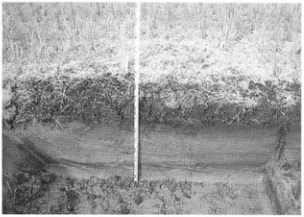
(33)～(40)：下老子笹川遺跡

(41) T 8 遠景（東から）

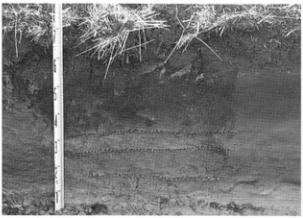
(42) T10遠景（東から）

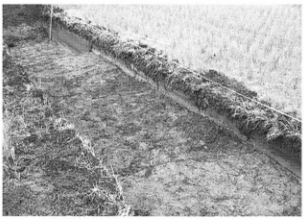
(43) T 4 西端土層断面（南から）

(44) T 4 遺構検出状況（東から）


(45) T 8 西端土層断面（南から）

(46) T 8 遺構検出状況（南東から）


(47) T 9 西端土層断面（南から）


(48) T 9 遺構検出状況（南東から）

(41)～(48)：下老子笹川遺跡

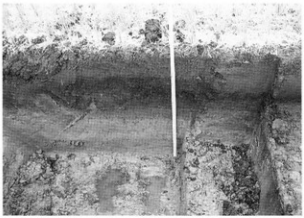
写真7

(49) T７遠景（東から）

(50) T11遠景（東から）

(51) T６西端土層断面（南から）

(52) T６完掘状況（東から）



(53) T11東端土層断面（南から）

(54) T11機械掘削状況（東から）

(55) T13西端土層断面（南から）

(56) T13完掘状況（東から）

(49)～(56)：下老子笹川遺跡

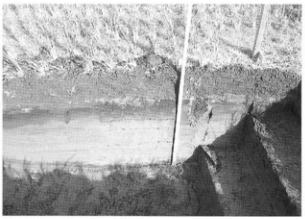
(57) T15遠景（北東から）

(58) T16遠景（南西から）

(59) T15北端土層断面（東から）

(60) T15遺構検出状況（北東から）

(61) T15完掘状況（北から）



(62) T16東端土層断面（南から）

(63) T16遺構検出状況（東から）

(64) T16完掘状況（東から）

(57)～(64)：下老子笹川遺跡

写真9

(65) T18遠景（西から）

(66) T21遠景（南から）

(67) T18東端土層断面（南から）

(68) T18遺構検出状況（南から）

(69) T20西端土層断面（南から）

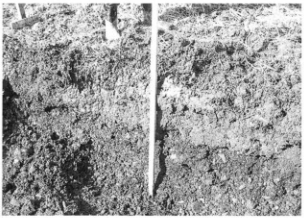
(70) T20遺構検出状況（南東から）

(71) T21東端土層断面（南から）

(72) T21遺構検出状況（南東から）

(65)～(72)：下老子笹川遺跡

(73) Ｔ１遠景（北東から）


(74) Ｔ１西端土層断面（南から）

(75) Ｔ１遺構検出状況（南東から）

(76) Ｔ１完掘状況（西から）

(77) Ｔ１遠景（東から）

(78) Ｔ１北東端土層断面（南東から）

(79) Ｔ２機械掘削状況（西から）

(80) Ｔ２完掘状況（西から）

(73)～(76)：江尻遺跡　(77)～(80)：開鮮大滝遺跡

写真11

(81) Ｔ１全景（東から）

(82) Ｔ１西端土層断面（南から）

(83) Ｔ２作業風景

(84) Ｔ２中央土層断面（南から）

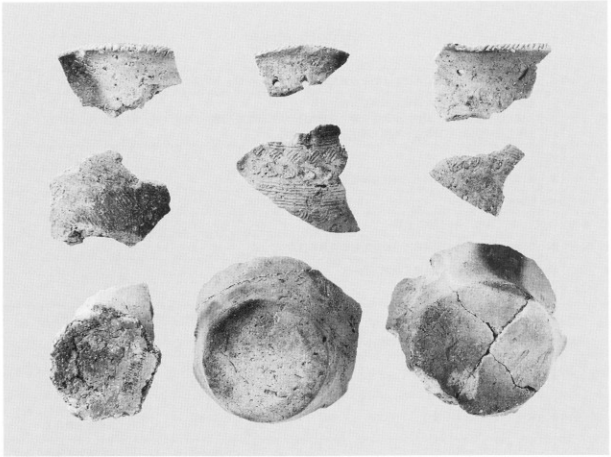
(85) Ｔ２東端土層断面（南から）

(86) Ｔ３全景（西から）

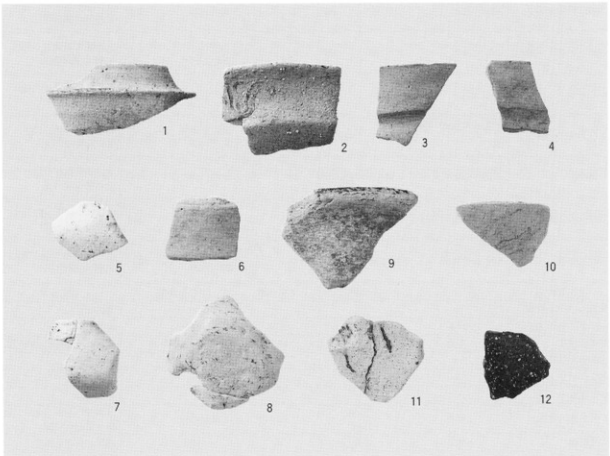
(87) Ｔ３西端土層断面（南から）

(88) Ｔ４土層断面（東から）

(81)～(88)：下川原遺跡



下老子笹川遺跡出土遺物



下川原遺跡出土遺物：1．2　水橋上砂子坂遺跡出土遺物：3．4　呉羽富田町遺跡出土遺物：5～8
江尻遺跡出土遺物：9.10　小竹貝塚出土遺物：11　新堀西遺跡出土遺物：12

報告書抄録

ふりがな	ほくりくしんかんせんかんけいまいぞうぶんかざいほうぞうちちょうさほうこく
書名	北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告（8） 水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡・呉羽富田町遺跡・北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚 下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開鮒大滝遺跡・開鮒上滝遺跡・下川原遺跡
巻次	8
シリーズ名	富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告
シリーズ番号	第40集
編著者名	森　隆　青山　晃　福辻　真澄
編集機関	財団法人富山県文化振興財団　埋蔵文化財調査事務所
所在地	〒930-0887　富山県富山市五福4384番1号　TEL076-442-4229
発行年月日	西暦2008年3月28日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
みずはしかみすなござか 水橋上砂子坂遺跡	とやましみずはしかみすなござか 富山市水橋上砂子坂	16201	256	36° 43′ 48″	137° 19′ 54″	20071016～ 20071019	360㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
みずはしかなひろちゅうまば 水橋金広中馬場遺跡	とやましみずはしかなひろ 富山市水橋中馬場	16201	251	36° 43′ 1″	137° 18′ 35″	20070906	40㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
しんぼりにしいせき 新堀西遺跡	とやましみずはししんぼり 富山市水橋新堀	16201	224	36° 42′ 39″	137° 17′ 35″	20071022・ 20071023	233㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
くれはとみだまちいせき 呉羽富田町遺跡	とやましきたく 富山市北代	16201	160	36° 42′ 39″	137° 11′ 4″	20071126	7㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
きたしろくどじいせき 北代シャクドジ遺跡	とやましきたく 富山市北代	16201	159	36° 43′ 3″	137° 10′ 52″	20071126・ 20071204	7㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
おたけかいづか 小竹貝塚	とやましなかみ 富山市中水	16201	105	36° 43′ 16″	137° 10′ 5″	20071101	16㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
しもろうざさがわいせき 下老子笹川遺跡	たかおかしかなやまちょうにばんぜんいち 高岡市福岡町二番一赤	16202	422072	36° 42′ 21″	136° 56′ 51″	20071108～ 20071115	892㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
えじりいせき 江尻遺跡	たかおかしかなやまえじり 高岡市福岡町江尻	16202	422073	36° 41′ 48″	136° 56′ 24″	20071119	24㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
ふなおおたきいせき 開鮒大滝遺跡	たかおかしかなやまふなおおたき 高岡市福岡町開鮒	16202	422079	36° 41′ 13″	136° 55′ 34″	20071119	45㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査
しもかわらいせき 下川原遺跡	かなやましみずはしかみすなござか 小矢部市野端	16209	209036	36° 40′ 16″	136° 51′ 33″	20070822～ 20070824	81㎡	北陸新幹線建設に伴う包蔵地確認調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
水橋上砂子坂遺跡	—	—	—	—	遺構なし
水橋金広中馬場遺跡	集落	中世	土坑	—	遺構を確認
新堀西遺跡	集落	弥生～古墳	土坑・溝	土師器	東側に遺構・遺物を確認
呉羽富田町遺跡	—	—	—	—	遺構なし
北代シャクドジ遺跡	—	—	—	—	遺構なし
小竹貝塚	—	—	—	—	遺構なし
下老子笹川遺跡	集落	中近世 弥生	土坑・溝	近世陶磁器・弥生土器	南東側と中央部に遺構・遺物を確認
江尻遺跡	集落	弥生	溝	弥生土器	遺構・遺物を確認
開鮒大滝遺跡	—	—	—	—	遺構・遺物なし
下川原遺跡	集落	弥生	土坑・溝	弥生土器	遺構・遺物を確認

富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第40集

北陸新幹線関係埋蔵文化財包蔵地調査報告(8)

水橋上砂子坂遺跡・水橋金広中馬場遺跡・新堀西遺跡・呉羽富田町遺跡
北代シャクドジ遺跡・小竹貝塚・下老子笹川遺跡・江尻遺跡・開発大滝遺跡・下川原遺跡

編集・発行　財団法人富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査事務所
〒930-0887　富山市五福4384番1号
TEL　076-442-4229

発行日　2008（平成20）年3月28日

印刷　ヨシダ印刷株式会社　富山営業所
〒939-8204　富山市根塚町1-5-5
TEL　076-493-3321